

平成30年12月26日

自動販売機（清涼飲料水）の設置による販売者の募集について（公告）

国有財産事務分掌者

大分地方裁判所長 三 浦 透

大分地方裁判所庁舎外の一部において、有償（価格競争）による使用許可を受け、自動販売機（清涼飲料水）の設置により販売する方を募集します。応募しようとする方は、下記の要領により企画提案書を提出してください。

記

1 件名

大分地方裁判所庁舎外における使用許可（自動販売機（清涼飲料水））の相手方の選定

2 募集の趣旨

大分地方裁判所庁舎外の一部において自動販売機（清涼飲料水）の設置により販売させる前提で使用許可（有償（価格競争））をするに当たって、使用許可を受けようとする者（法人，個人を問わない。）を広く募集し，提出された企画提案書により使用許可をする相手方を選定することを目的とするものである。

3 使用許可をする場所

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| (1) 大分市荷揚町7番15号 | 大分地方裁判所庁舎北棟1階 |
| (2) 大分県杵築市大字杵築1180 | 大分地方裁判所杵築支部庁舎1階 |
| (3) 大分県佐伯市野岡町2丁目13番2号 | 大分地方裁判所佐伯支部庁舎1階 |
| (4) 大分県中津市二ノ丁1260 | 大分地方裁判所中津支部庁舎1階 |
| (5) 大分県日田市淡窓1丁目1番53号 | 大分地方裁判所日田支部庁舎1階 |

詳細は企画提案募集要領を参照のこと

4 使用許可の条件内容

使用許可を受けた者は、使用許可を受けた場所において、自らが提出した企画提案書の内容に従い、自動販売機（清涼飲料水）を設置し販売する。

詳細は企画提案募集要領を参照のこと

5 企画提案書の作成及び提出に係る事項

(1) 企画提案募集要領の交付

ア 交付期間

平成30年12月26日（水）から平成31年1月8日（火）まで（ただし，土曜日，日曜日，祝日及び裁判所の休日に関する法律（昭和63年法律第93号）第1条に規定する裁判所の休日を除く。）の午前9時30分から午後4時30分まで（ただし，正午から午後1時までを除く。）

イ 交付場所

大分地方裁判所事務局会計課管理係（内線121）

大分市荷揚町7番15号 電話097（532）7161

ウ 交付方法

交付場所において無料で交付する（郵送又はFAXによる交付申込みは受け付けない。）。

(2) 企画提案書の提出方法等

ア 提出期間

平成31年1月16日（水）から同年1月23日（水）まで（ただし、土曜日及び日曜日を除く。）の午前9時30分から午後4時30分まで（ただし、正午から午後1時までを除く。）

イ 提出場所

上記企画提案募集要領の交付場所と同じ

ウ 提出方法

提出場所に持参する方法による（郵送又はFAXによる提出は受け付けない。）。

エ 提出部数 3部

6 質問及び回答

- (1) 本件の応募又は企画提案書の作成、提出に関する質問は、次の提出期限まで、書面にて受け付けるので、提出場所に持参する。

ただし、手続及び企画提案書の形式についての質問は、前記企画提案募集要領交付場所に電話で問い合わせても差し支えない。

ア 質問書の様式 日本工業規格A列4番の用紙を用いる。

イ 提出期限 平成31年1月9日（水）正午まで

ウ 提出場所 上記企画提案募集要領の交付場所と同じ

- (2) 回答書は、次の交付日時に交付場所において手交する（郵送又はFAXによる回答は行わない。）。

ア 交付日時 平成31年1月15日（火）午後4時

イ 交付場所 前記企画提案募集要領の交付場所と同じ

7 使用許可をする相手方を選定するための手順

- (1) 応募者の参加資格として、次に掲げる要件を満たすこと。

ア 法人等（個人、法人又は公共団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合には役員又は支店若しくは営業所の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）ではないこと。

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者ではないこと。

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者ではないこと。

エ 役員等が，暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている者ではないこと。

オ 役員等が，暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者でないこと。

カ 暴力団又は暴力団員及びイからオまでに定める者の依頼を受けて公募に参加しようとする者でないこと。

- (2) 応募者は，前項の要件を満たすこと及び将来的に当該要件に反することはない旨を誓約し，使用許可後に誓約が虚偽であることが判明し，又は前項の要件に反することとなった場合，当該使用許可の取消をされても異議を申し立てない旨を明記した誓約書及び役員名簿を前記 5 の企画提案書と合わせて提出すること。

- (3) 提出した企画提案書が次の一つに該当する応募者は欠格とする。

ア 提出場所，提出期限又は提出方法が前記 5(2)に適合しないとき。

イ 企画提案募集要領に指定する作成様式又は記載事項の留意事項に適合しないとき。

ウ 虚偽の内容が記載されているとき。

- (4) 欠格とされなかった応募者から提出された企画提案書について，評価項目で定めた要件のうち 1 ないし 3 を全て満たした内容となっているかを審査し，全て要件を満たしていると認められた応募者のうち，国有財産使用料（1 m²あたりの金額・年額）の提案が，大分地方裁判所が定める使用料（1 m²あたりの金額・年額）の最低価格の制限以上で，最も金額の高い者を相手方として選定するため，応募者は，3 の使用許可をする場所（以下「使用場所」という。）ごとに使用料を算出し，その合計額を各庁の使用面積の合計数量で除した金額をもって，1 m²あたりの金額（年額）を算出すること。

また，実際の使用料は，これに消費税等相当額が加算されるため，応募者は提案書に記載する金額を算出する際には，消費税等相当額を差し引いて算出し，国有財産使用料価格提案書に記入すること。

なお，最高価格の提案を行った者が複数存在する場合には，最高価格の提案を行った者でくじ引きを実施し相手方を選定する。ただし，最高価格の提案を行った者が来庁できない場合は，当該選定手続を担当していない職員によるくじ引きを実施し，相手方を選定する。おって，いずれの提案金額も大分地方裁判所が定める使用料（1 m²あたりの金額・年額）の最低価格の制限に達しない場合は，国有財産使用料（1 m²あたりの金額・年額）の金額について，評価項目で定める全ての要件を満たしていると認められた応募者全てから，再提案を受けることとするが，再提案の締め切りについては，該当者に対し，大分地方裁判所から別途連絡する。

- (5) 再提案によっても大分地方裁判所が定める使用料（1 m²あたりの金額・年額）の最低価格の制限に達しない場合，最も高額な提案をした者から順に大分地方裁判所が定める使用料（1 m²あたりの金額・年額）の最低価格の制限以上で国有財産使用料の提示可能であるかの交渉を行う。

- (6) (4)の手続によっても大分地方裁判所が定める使用料の最低価格の制限に達しない場合は本件公募手続を打ち切る。

詳細は企画提案募集要領を参照のこと

8 その他

- (1) 書類等の作成に用いる言語，通貨及び単位は，日本語，日本円，日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位に限る。
- (2) 提出された企画提案書は返却しない。
- (3) 企画提案書等の作成，提出及び本件に応募することに関わる費用は，すべて応募者の負担とする。
- (4) 提出された企画提案書の内容を確認するため，必要に応じて個別にヒアリングを実施することがある。